様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	長岡公務員・情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	総合ビジネス科	夜・通信	316 時間	160 時間	
	ビジネス公務員科	夜・通信	－	160 時間	※
	公務員科	夜・通信	－	80 時間	※
	公務員研究科	夜・通信	－	80 時間	※
	ビジネスライセンス科	夜・通信	141 時間	80 時間	
工業専門課程	高度ＩＴシステム科	夜・通信	352 時間	240 時間	
	情報システム科	夜・通信	252 時間	160 時間	
	コンピュータグラフィックデザイン科	夜・通信	240 時間	160 時間	
	データマーケティング科	夜・通信	201 時間	160 時間	
	ＩＴ大学併修科	夜・通信	402 時間	320 時間	
（備考）2023 年度より情報ビジネス科はデータマーケティング科に名称変更。					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://njc-web.net/openinfo/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名　ビジネス公務員科
（困難である理由） 公務員試験への合格を目標とする学科であり、授業内容が専ら公務員試験合格に必要な試験勉強の指導となっているため。
学科名　公務員科
（困難である理由） 公務員試験への合格を目標とする学科であり、授業内容が専ら公務員試験合格に必要な試験勉強の指導となっているため。
学科名　公務員研究科
（困難である理由） 公務員試験への合格を目標とする学科であり、授業内容が専ら公務員試験合格に必要な試験勉強の指導となっているため。

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長岡公務員・情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://njc-web.net/openinfo/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	2023 年 6 月 1 日～2027 年 5 月 31 日	政策的観点
非常勤	団体職員	2023 年 6 月 1 日～2027 年 5 月 31 日	教育統括的視点
非常勤	弁護士	2023 年 6 月 1 日～2027 年 5 月 31 日	法的観点
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長岡公務員・情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）は下に示すような流れで作成する。教育の質向上への取り組みの一環として、校長・副校長および教務部長、系主任による授業計画（シラバス）のチェックを実施する。このチェックの結果、授業計画（シラバス）作成原稿の提出後に記載内容の再検討を要する場合がある。 ＜シラバス作成過程＞ （適時）各系内において実施されたシラバスについての意見交換 実施されたシラバスの評価（副校長および教務部長） 12 月～　新年度教科担当者の決定、シラバス作成依頼 1 月～2 月下旬　新年度シラバス作成、提出（教科担当者） 2 月～3 月下旬　新年度シラバスの確認（副校長および教務部長、系主任） 必要に応じて再検討、修正、再確認 4 月初旬　新年度シラバス確定 公表
授業計画書の公表方法　http://njc-web.net/openinfo/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
成績評価
1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。
2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。
3．成績評価はA.B.C.Dの4段階とする。
　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。
　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。
科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
D評価を受けた者には追試験を行い学習の機会を与える。追試験の合格者はC評価とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
履修科目の成績評価（Ａ～Ｄ）を点数化し、学科総時間に対する該当科目の時間数によってウエート付けを行った上で合計した平均点を算出して指標とする。算出された指標の分布状況を各学科別に把握する。
成績評価の点数化は以下の通りとする。Ａ（3点）、Ｂ（2点）、Ｃ（1点）、Ｄ（0点）。

客観的な指標の算出方法の公表方法	http://njc-web.net/openinfo/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

<table>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
本校に教育理念である「スペシャリストの育成」と「豊かな人間形成」の実現のために、以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。
１．出席率 90％以上（総出席時間の割合）
２．成績評価がすべてＣ評価以上
３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得）
４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）

卒業基準検定は学科ごとに定めるものとし、学生の手引きにも明示して学生全員に配布・説明を行っている。カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点についても学生の手引にも明示して学生全員に配付・説明を行っている。
卒業の認定は副校長、教務部長、担任を交えた卒業判定会議により行う。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>http://njc-web.net/openinfo/</td></tr>
</table>

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	長岡公務員・情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://njc-web.net/openinfo/
収支計算書又は損益計算書	http://njc-web.net/openinfo/
財産目録	http://njc-web.net/openinfo/
事業報告書	http://njc-web.net/openinfo/
監事による監査報告（書）	http://njc-web.net/openinfo/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科（オフィス事務コース）	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1,709 単位時間／単位	1,133 単位時間/単位	232 単位時間/単位	294 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1,709 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人の内数	22 人	0 人	3 人	3 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3. 成績評価はA.B.C.Dの４段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
卒業・進級の認定基準

（概要）
・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。
・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。
１．出席率 90%以上（総出席時間の割合）
２．成績評価がすべてＣ評価以上
３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得）
４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）

学修支援等

（概要）
　クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。
主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
22 人（100%）	0 人（　0%）	22 人（　100%）	0 人（　0%）

（主な就職、業界等）
信用金庫、サービス業事務、製造業事務、病院事務、小売業事務、自動車販売など

（就職指導内容）
就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援

（主な学修成果（資格・検定等））
簿記検定、EXCEL 検定、WORD 検定、リテールマーケティング検定、秘書検定

（備考）（任意記載事項）
ビジネスライセンス科への転科者１名

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）
―

（中退防止・中退者支援のための取組）
実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">商業実務</td><td>商業実務専門課程</td><td colspan="2">総合ビジネス科（販売サービスコース）</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1,706
単位時間／単位</td><td>1,150
単位時間
/単位</td><td>232
単位時間
/単位</td><td>324
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1,706 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30人の内数	20人	0人	3人	3人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。
授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。
授業計画（シラバス）は1年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。

成績評価の基準・方法

（概要））成績評価
1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。
2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。
3．成績評価はA.B.C.Dの4段階とする。
　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。
　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。
科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。

卒業・進級の認定基準

（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。
・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。
１．出席率90%以上（総出席時間の割合）
２．成績評価がすべてＣ評価以上
３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得）
４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）

学修支援等

（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。
主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数	その他

		（自営業を含む。）	
6 人 （100%）	0 人 （ 0%）	4 人 （ 66.7%）	2 人 （ 33.3%）

（主な就職、業界等）
自動車販売、不動産営業、電化製品販売など

（就職指導内容）
就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援

（主な学修成果（資格・検定等））
簿記検定、EXCEL 検定、WORD 検定、リテールマーケティング検定、色彩検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）
－

（中退防止・中退者支援のための取組）
実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科（公務員コース）			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,715 単位時間／単位	1,122 単位時間 /単位	249 単位時間 /単位	344 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,715 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人の内数	6 人	0 人	5 人	3 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。
授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。
授業計画（シラバス）は 1 年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。

成績評価の基準・方法

（概要））成績評価 1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3．成績評価はA.B.C.Dの4段階とする。 　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 （100%）	0人 （　　0%）	2人 （　　100%）	0人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 建設業事務、小売業事務			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、EXCEL検定、WORD検定、各種公務員試験1次合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%

（中途退学の主な理由） ―
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科（経理会計コース）			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,941 単位時間／単位	1,649 単位時間/単位	393 単位時間/単位	294 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,336 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人の内数	8 人	0 人	5 人	3 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は 1 年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3. 成績評価は A.B.C.D の 4 段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D 評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率 90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等

（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （　　－%）	0 人 （　　－%）	0 人 （　　－%）	0 人 （　　－%）
（主な就職、業界等） －			
（就職指導内容） －			
（主な学修成果（資格・検定等）） －			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） －		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ビジネスライセンス科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	864 単位時間／単位	542 単位時間 /単位	88 単位時間 /単位	234 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			864 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
15 人	6 人	0 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3．成績評価はA.B.C.Dの４段階とする。 　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 （100%）	0人 （　　0%）	4人 （　　80%）	1人 （　　20%）
（主な就職、業界等） 公務員、経理事務、法律事務など			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、EXCEL検定、WORD検定、ビジネスマナー検定			

（備考）（任意記載事項）
総合ビジネス科からの転科者１名が卒業者に含まれる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） —		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ビジネス公務員科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,849 単位時間／単位	1309 単位時間 /単位	234 単位時間 /単位	306 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,849 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	78 人	0 人	5 人	3 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3. 成績評価は A.B.C.D の４段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D 評価）。
卒業・進級の認定基準

（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率 90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 （100%）	0 人 （　　0%）	35 人 （　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 市役所、国家公務員、警察官、消防官、製造業、小売業			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 各種公務員採用試験合格、EXCEL 検定、WORD 検定、簿記検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83 人	3 人	3.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更（就職希望）、体調不良。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	公務員科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	864 単位時間／単位	551 単位時間/単位	157 単位時間/単位	156 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			864 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	8 人	0 人	3 人	2 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。
授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。
授業計画（シラバス）は1年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。

成績評価の基準・方法

（概要））成績評価
1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。
2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。
3．成績評価はA.B.C.Dの4段階とする。
　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。
　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。
科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。

卒業・進級の認定基準

（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。
・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。
１．出席率90%以上（総出席時間の割合）
２．成績評価がすべてＣ評価以上
３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得）
４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）

学修支援等

（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。
主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
13 人（100%）	0 人（ 0%）	10 人（ 76.9）	3 人（ 23.1%）

（主な就職、業界等） 国家公務員、新潟県職員、市役所職員、消防官、自衛官
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援
（主な学修成果（資格・検定等）） 各種公務員採用試験合格、EXCEL 検定、WORD 検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） —		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		工業専門課程	高度ＩＴシステム科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	2,775 単位時間／単位	1113 単位時間/単位	862 単位時間/単位	800 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,775 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
（募集停止）	1 人	0 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3. 成績評価はA.B.C.Dの４段階とする。

検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D 評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率 90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 （100%）	0 人 （ 0%）	1 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） システムエンジニア			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報処理検定、EXCEL 検定、WORD 検定			
（備考）（任意記載事項） 2022 年度募集停止。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） －		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">情報システム科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2,020
単位時間／単位</td><td>964
単位時間
/単位</td><td>514
単位時間
/単位</td><td>542
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1,990 単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	38 人	1 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。
授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。
授業計画（シラバス）は 1 年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。

成績評価の基準・方法

（概要））成績評価
1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。
2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。
3. 成績評価は A.B.C.D の 4 段階とする。
　検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。
　検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。
科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D 評価）。

卒業・進級の認定基準

（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。
・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。
１．出席率 90%以上（総出席時間の割合）
２．成績評価がすべてＣ評価以上
３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得）
４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）

学修支援等

（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。
主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 （100%）	0 人 （　　0%）	25 人 （　　92.6%）	2 人 （　　7.4%）

（主な就職、業界等）
プログラマー、ＳＥ、システム運用オペレーター、製造職、販売職

（就職指導内容）
就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援

（主な学修成果（資格・検定等））
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報処理検定、EXCEL 検定、WORD 検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）
—

（中退防止・中退者支援のための取組）
実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	コンピュータグラフィックデザイン科	○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1,762 単位時間／単位	452 単位時間 /単位	235 単位時間 /単位	1075 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,762 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	14 人	0 人	2 人	4 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。
授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。
授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。

成績評価の基準・方法

（概要））成績評価 1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3．成績評価はA.B.C.Dの4段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 （100%）	0人 （　　0%）	4人 （　　100%）	0人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 小売業(デザイナー職）、製造業、サービス業			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator検定、Photoshop検定、マルチメディア検定、EXCEL検定、著作権検定			
（備考）（任意記載事項） 2022年度ＣＧデザイン科よりコンピュータグラフィックデザイン科に名称変更のため、2022年度卒業生はＣＧデザイン科卒業となる。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%

（中途退学の主な理由） ―
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	データマーケティング科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1,844 単位時間／単位	1,070 単位時間/単位	281 単位時間/単位	493 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1,844 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	4 人	0 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は 1 年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1. 成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2. 成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3. 成績評価は A.B.C.D の 4 段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D 評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率 90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等

（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。
主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 （100%）	0 人 （ 0%）	7 人 （ 87.5%）	1 人 （ 12.5%）
（主な就職、業界等） 小売業事務、製造業製造、サービス業事務、など			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、EXCEL 検定、WORD 検定、ACCESS 検定			
（備考）（任意記載事項） 2023 年度より情報ビジネス科からデータマーケティング科に名称変更。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の低下。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		工業専門課程	ＩＴ大学併修科				○
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
４年	昼	3,543 単位時間／単位	1,730 単位時間 /単位	771 単位時間 /単位	1,042 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,543 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	9 人	0 人	3 人	5 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）長岡公務員・情報ビジネス専門学校のシラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の教科担当教員が授業計画を作成する。 授業計画（シラバス）には授業概要、目的、授業の進め方、到達目標、使用教材、スケジュール、評価方法、履修上の注意等を記載し、教務責任者による確認を受ける。 授業計画（シラバス）は１年間の授業に関するものを、当該年度の始まりまでに作成し公表する。
成績評価の基準・方法
（概要））成績評価 1．成績評価は原則として科目ごとに評価する。 2．成績評価は、検定取得状況、授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、修得試験等の資料によってなされ、本人の努力に関しても考慮する。 3．成績評価はA.B.C.Dの４段階とする。 検定関連科目は検定結果を中心に評価することもある。 検定の無い科目は試験・レポート等で評価する。 科目ごとの評価にあたって、各科目の出席率が 80%未満の場合は評価対象とならない（D評価）。
卒業・進級の認定基準
（概要）・長岡公務員・情報ビジネス専門学校のディプロマポリシーに沿って卒業を認定する。 ・本校では以下の基準を満たした学生に対して卒業を認定している。 １．出席率90%以上（総出席時間の割合） ２．成績評価がすべてＣ評価以上 ３．卒業基準検定の取得（各学科ごとに規定された基準検定の取得） ４．カレッジリーグ・フィールドワーク・プログラムの規定点数以上の取得（豊かな人間形成の実現に向けて、本校内外の課外活動、行事への参加を推進する。同時に学生の積極性、自己啓発意欲の育成を図る）
学修支援等
（概要）クラス担任制を採用しており、クラス担任が学生から個々に相談を受け指導や助言のできる体制となっている。 主要検定に関しては各科カリキュラムにおいて補習授業を行う。また授業時間外においても、担当教師への質問や履修指導が受けられる環境となっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （　　0%）	0人 （　　0%）	0人 （　　0%）	0人 （　　0%）
（主な就職、業界等） ―			
（就職指導内容） 就職セミナー開催、校内就職研修の実施、就職課による指導・支援、クラス担任による指導・支援			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、簿記検定、EXCEL検定、WORD検定、ACCESS検定			

（備考）（任意記載事項）
2022 年度より新設。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） －		
（中退防止・中退者支援のための取組） 実践行動学による動機付け、就学状況に応じたカウンセリング、保護者との情報共有に基づく連携、学校カウンセラーの配置、SNS 学生相談室の開設。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
総合ビジネス科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
ビジネスライセンス科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
ビジネス公務員科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
公務員科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
公務員研究科	－円	230,000 円	340,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 80,000 円）
情報システム科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
コンピュータグラフィックデザイン科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
データマーケティング科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費 160,000 円）
ＩＴ大学併修科	70,000 円	460,000 円	420,000 円	その他内訳（施設設備費 260,000 円、施設維持費

				160,000 円）
修学支援（任意記載事項）				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://njc-web.net/openinfo/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目（学校運営、教育活動、教育環境、法令等の遵守、など）を中心に評価を実施する。 学校関係者評価委員の定数は 3 名以上とし、うち企業等委員 2 名以上、卒業生 1 名以上を選出するものとする。企業等委員は、企業の実務に関する豊富な知識と高い見識を備えている、あるいは、様々な社会変化や価値観の多様化が見られる現代社会において、新たなニーズを捉え、創造的企業の創出や地域活性化を進めていくための支援や政策提言を行っている経済団体の委員等を選出する。卒業生は卒業後に社会で実務に係わっている方を選出する。 評価結果はホームページに公表するとともに、基準項目ごとの評価・意見を教育活動その他の学校運営に資するよう、学校内部での活用を図っていくものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社第一印刷所	平成 29 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	企業等委員
株式会社事業創造サポート	平成 29 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	企業等委員
（卒業生）	平成 29 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://njc-web.net/openinfo/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://njc-web.net/openinfo/